

平成20年度日本学術振興会特別研究員申請者に関する評価書 (DC)

本書式を <http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html> → 「申請手続き」 → 「募集要項(PD・DC2・DC1)」 → 「申請書等様式」 からダウンロードし、次頁に記載した特別研究員の制度並びに評価書作成上の注意点をよく読んで記入してください。

①評価者の所属機関： \_\_\_\_\_ 大 学 \_\_\_\_\_ 学部・研究科・研究所 \_\_\_\_\_ 研究所  
職： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_ 印

②申請者 氏 名 **湯川秀樹**

③研究課題（申請書の「研究課題」を記入）  
**象の卵**

④申請者の研究能力について

次のような観点から申請者の資質を評価し、□内にチェック又は■としてください。わからない場合は右端の「わからない」の欄を選択してください。

	特に優れている	優れている	普 通	劣っている	わからない
・研究姿勢・忍耐力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・専門的知識・技量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・着想力・創造力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・コミュニケーション能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・将来性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

申請者の研究能力を総合的に評価してください（該当する項目を○で囲んでください）。  
これまでに指導した大学院博士課程学生（約 \_\_\_\_\_ 名）の中で  
ア) 上位10%程度    イ) 25%程度    ウ) 50%程度    エ) 50%以下

---

上記の諸点に着目し、申請者の研究課題遂行能力及び我が国の学術研究の将来を担う人材となりうるかなどの資質について評価してください。

湯川秀樹君は、秀才タイプの青年で勉強もよくでき、非常にまじめである。何事についてもまじめで、最近は大学内の対抗野球試合に向けて、毎日ひたすら野球の練習に打ち込んでいる。

ただ、そうしたこともあって、能力は高いのかもしれないが、さっぱり論文を書かない。私が湯川君を採用したのは、ある人から強い推薦があったためだが、本当のことを言うと、私としては朝永君を採用したかった。

まあ、少しは能力に見合った成果を出すよう、ハッパをかけようと思う。

⑤申請者の研究者としての将来性を判断する上で特に参考になると思われる事項があれば記入してください。(例：特に優れた学業成績，受賞歴，飛び級入学，留学経験，特色ある学外活動など)

(評価書作成上の注意点)

- \*本評価書作成の際は、日本語又は英語で記入してください。なお、手書きする場合は、黒インク又は黒ボールペンで丁寧に記入してください。
- \*評価書作成者は、申請書記載の「現在の研究指導者」と同一であること。現在、研究指導の委託により他大学等において研究指導を受けている場合は、「現在の研究指導者」が委託先の受入研究者と連絡をとって作成してください。
- \*本評価書は、審査の重要な資料となるので、当該申請者についてできるだけ具体的かつ明確に記入してください(DC1の場合、研究業績は未完成のことが多いと思われるため、特に詳細に書いてください)。
- \*本評価書は両面印刷としてください。本書以外に新たに用紙を加えることはできません。
- \*写しは6部(A4版、両面コピー)とり、本書及び写しを併せて封筒(角2)に入れ厳封の上、申請者が作成する申請書に添付してください(封筒の表に申請者名と評価者名を記載してください)。

特別研究員制度について

日本学術振興会特別研究員制度は、優れた若手研究者に、その研究生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与えることにより、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士課程在学者及び大学院博士課程修了者等で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を採用し、研究奨励金を支給するものです。

参考：過去の採用状況(平成14～18年度)

年度	SPD・PD			DC			計		
	申請数	採用数	採用率	申請数	採用数	採用率	申請数	採用数	採用率
18	4,446	400	9.0%	7,440	1,186	15.9%	11,886	1,586	13.3%
17	4,689	480	10.2%	7,428	1,416	19.1%	12,117	1,896	15.6%
16	4,718	535	11.3%	7,429	1,048	14.1%	12,147	1,583	13.0%
15	4,836	716	14.8%	7,124	905	12.7%	11,960	1,621	13.6%
14	5,062	598	11.8%	7,050	763	10.8%	12,112	1,361	11.2%

※詳細は、本会「特別研究員」ホームページ(<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>)→「審査」→「採用状況」をご覧ください。